令和６年度第３回熊谷市地域公共交通会議

議　案　書

令和６年８月３０日

議　事

議案第１号　熊谷市ＭａａＳ基本計画の策定について

議案第２号　ゆうゆうバスひまわり号運行事業者選定
プロポーザルの実施について

議案第３号　深谷観光バス㈱　深谷駅－籠原駅線の新設について

報告事項

報告第１号　熊谷市ゆうゆうバススマホ回数券の降車データ取得に
ついて

議案第1号

熊谷市ＭａａＳ基本計画の策定について

１　MaaS 基本計画概要

・本市全域にわたる人々の移動実態を調査し、分析するとともに、効率的な運行が期待されるＡＩオンデマンド交通について、既存の公共交通との共存・連携強化を念頭に置きながらも、分析結果に基づき適地を選定し、次年度以降に本市に最も適した形での本格導入を行うため策定する。
・運転士不足が社会問題となる中、高齢化に伴いゆうゆうバスでは拾いきれない移動需要が発生してきている。（買い物や通院でたまには使いたいが、停留所が自宅から遠い場所にしかなく、本数も少ないため使いづらい⇔一方、停留所を増やし路線延長すると、目的地までの運行時間の増加、便数の確保が困難等の問題）
・ゆうゆうバスを含め、既存交通網との住み分けを行い、持続可能な地域公共交通を構築することを目標とし導入する。
・既存バス路線との交通結節点を設け、乗り継ぎを推進する。
・状況に応じ、将来的なゆうゆうバス路線網の再編も視野に入れる。

２　ＡＩオンデマンド交通の運行仕様検討（案）について

【運行形態】
・乗合型
・停留所間移動（ゆうゆうバスに比し、より密に設置）
【運行エリア】
・市民アンケート、人流分析を基に、既存交通運行状況を加味して設定。
　乗合運行が成立しうる範囲。
　乗合者同士の連れ回し時間が許容範囲に収まる設計。
【運行車両】
・バス車格で入り込めない路地や店舗敷地への侵入が出来る車両を想定。
【運行時間】
・交通機関が混雑する通勤通学時間帯を避けた日中を想定。
【利用予約】
・定時定路線のバス運行と異なり、乗車時は数十分前までに事前予約が必要。
　デジタルリテラシーに合わせた、予約方法を提供する。アプリ予約のほかオペレーターへの電話予約を想定する。
【運賃】
・エリア内一律運賃を想定。既存交通の運賃や持続可能性を踏まえ検討。

議案第2号

ゆうゆうバス運行事業者選定プロポーザルの実施について

1　概要

・ゆうゆうバスとして現在運行中の「ひまわり号」について、車両の老朽化により来年度の協定期間満了（令和７年９月末）をもって更新を予定する。
令和７年１０月から新車両にて運行開始。

・いずれも同型の車両への更新を予定しており、車両の確保に時間がかかるため、９月議会で補正予算の承認をいただければ、今年度中に運行事業者選定のプロポーザルを実施することを予定している。

2　事業者選定方法

⑴ 公募型プロポーザル方式を予定

①運行経費の赤字分と車両の減価償却費相当分を市が補助するため、安全かつ効率的な運行を依頼。

②利用者増に関する「民間ならではの御提案」をいただき、ゆうゆうバスの更なる利用増進を図る。

⑵ 参加資格

国土交通大臣から道路運送法（昭和２６年法律第１８３号）第３条第１号イに定める一般乗合旅客自動車運送事業の許可を既に有するか、運行に向け、一般乗合旅客自動車運送事業の許可の取得が確実であること。

3　協定の方法・期間

・従来と同様に運行事業者が購入

・車両の減価償却期間を加味して、５年間の協定を予定。

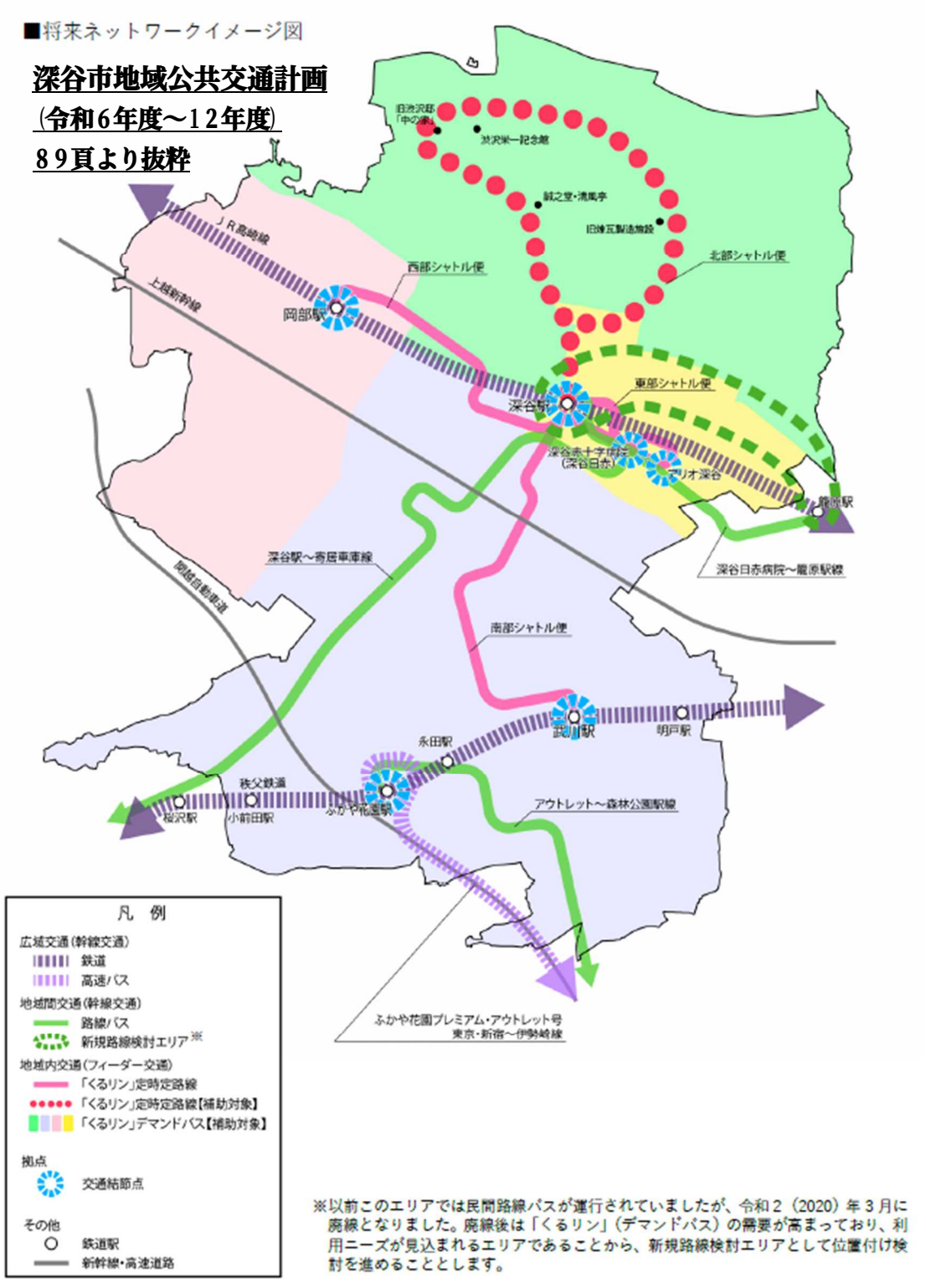
4　選定委員案

・運行路線が通る地域を考慮して選定委員の構成は以下とする。

委員長	熊谷市総合政策部長
副委員長	熊谷市地域公共交通会議委員（熊谷商工会議所副会頭）
委員	熊谷市地域公共交通会議委員（大里地域代表）
委員	熊谷市地域公共交通会議委員（熊谷地域代表）
委員	熊谷市総合政策部企画課長
委員	熊谷市環境部環境政策課長
委員	熊谷市産業振興部商業観光課長
委員	熊谷市都市整備部都市計画課長

深谷観光バス㈱　深谷駅－籠原駅線の新設について

１　深谷市地域公共交通計画について



※以前このエリアでは民間路線バスが運行されていましたが、令和２（2020）年３月に廃線となりました。廃線後は「くるリン」（デマンドバス）の需要が高まっており、利用ニーズが見込まれるエリアであることから、新規路線検討エリアとして位置付け検討を進めることとします。

・ＪＲ深谷駅北口から幡羅地区を経由しＪＲ籠原駅北口は令和２年3月31日まで民間路線バスが運行。
・人口密度が比較的高い深谷市幡羅地区の交通需要に対し、深谷市地域公共交通計画では新規路線を検討。

２　深谷観光バス㈱　運行計画について

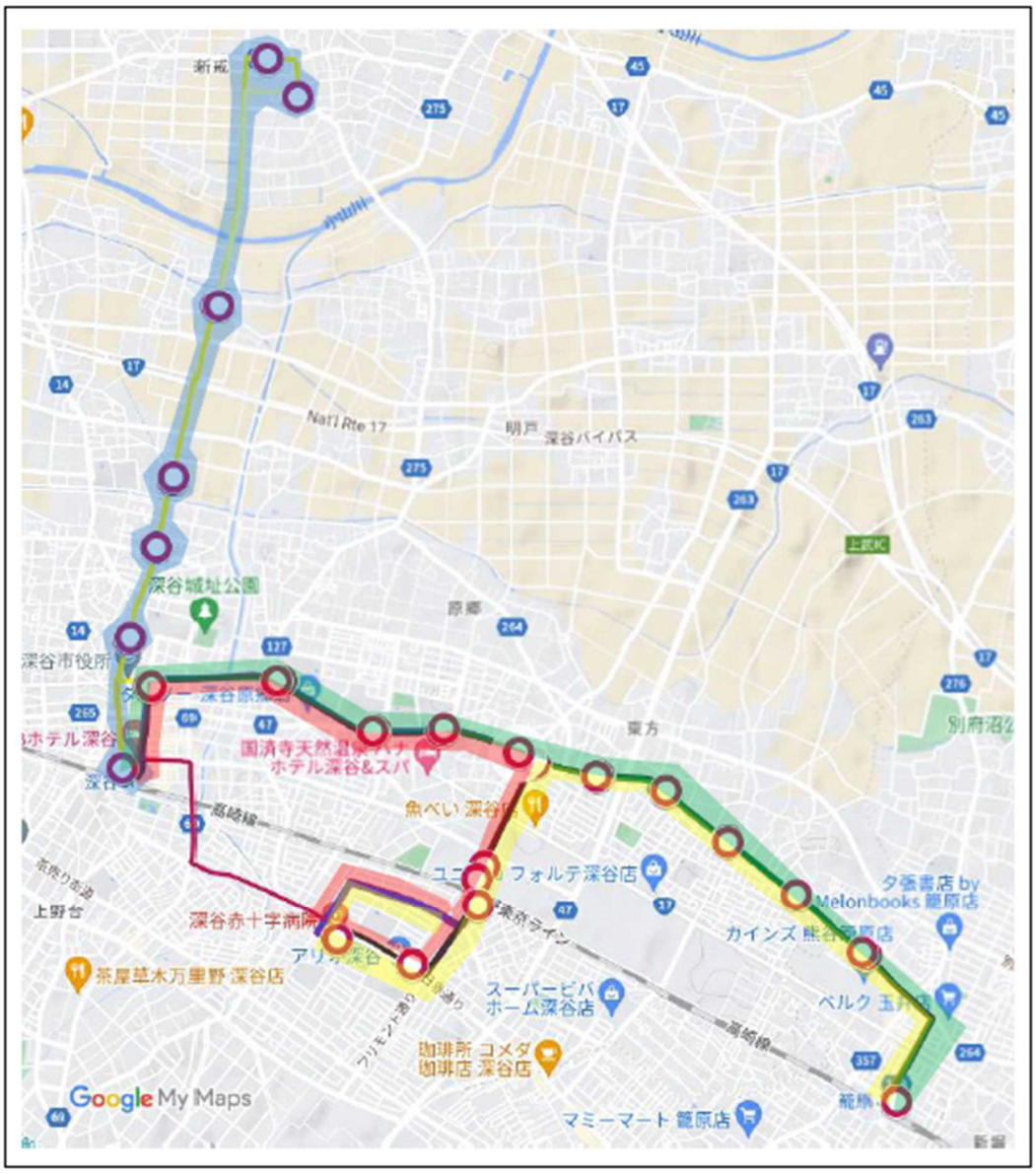
⑴ 共創モデル事業として
深谷観光バス㈱が、当該路線検討エリアにて、新規路線の運行を計画。
本年７月国土交通省の令和６年度共創モデル（※）実証運行補助金採択。
※交通を地域のくらしと一体としてとらえ、地域公共交通の維持・活性化を目的として複数の主体が連携して行う取組。

共創事業者は、「深谷市」と、「深谷大里看護専門学校」
深谷駅～籠原駅区間の路線に深谷大里看護専門学校のスクールバス機能（＝深谷駅から通学区間の運行）も補完し、高齢者等移動困難者に配慮した深谷日赤までの動線を加え運行する。

図：プラットフォームイメージ



⑵ 路線図（案）



凡例

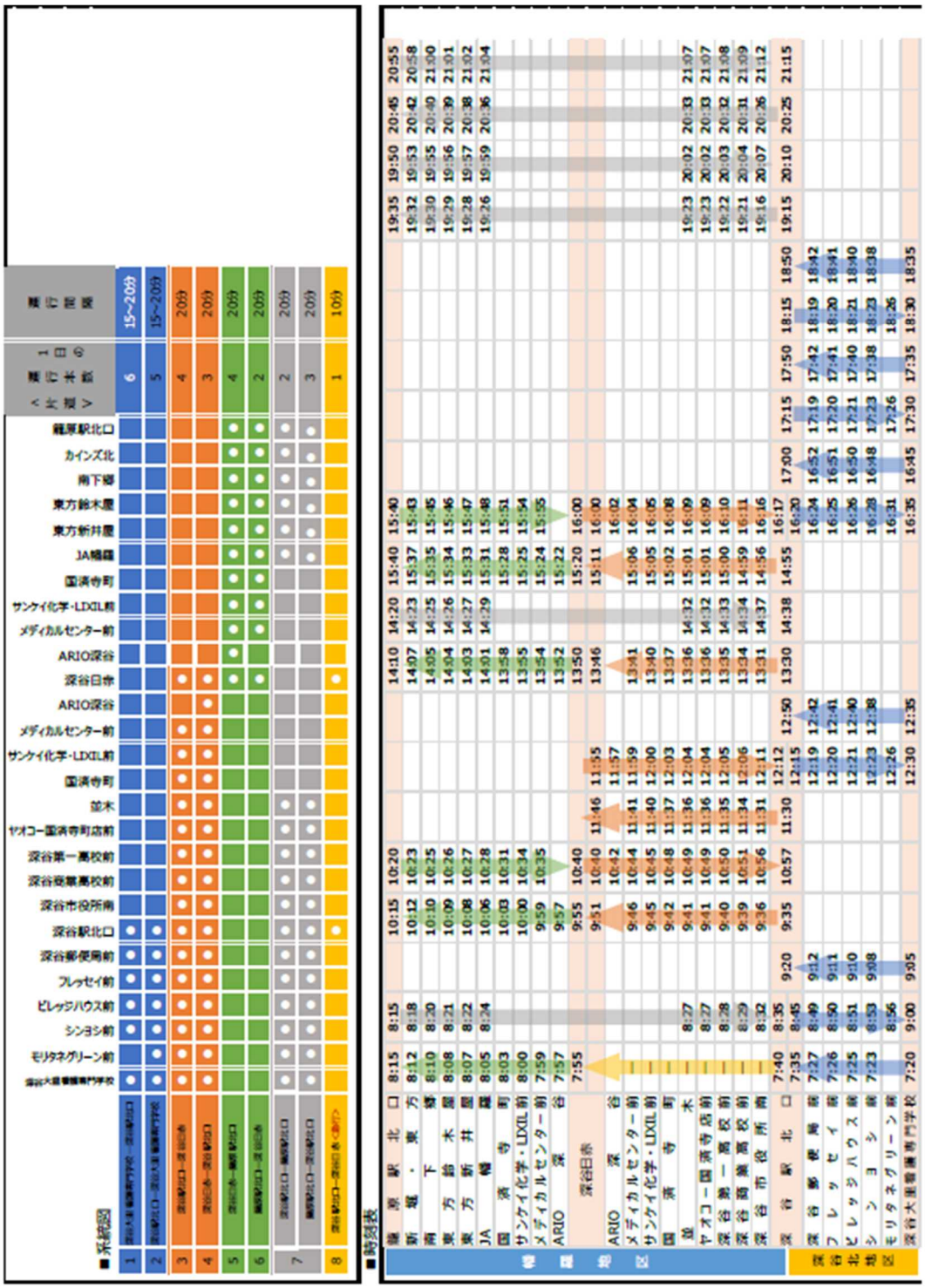
- ・・・スクールバスを主にした動線凡例
- ・・・深谷駅北口から深谷赤十字病院を結ぶ動線
- ・・・籠原駅北口から深谷赤十字病院を結ぶ動線
- ・・・深谷駅北口から籠原駅北口を結ぶ動線
- ・・・特急便（研修用スクールバスを主とした動線）
- ・・・・・・・・・停留所

⑶ 運行系統（案）

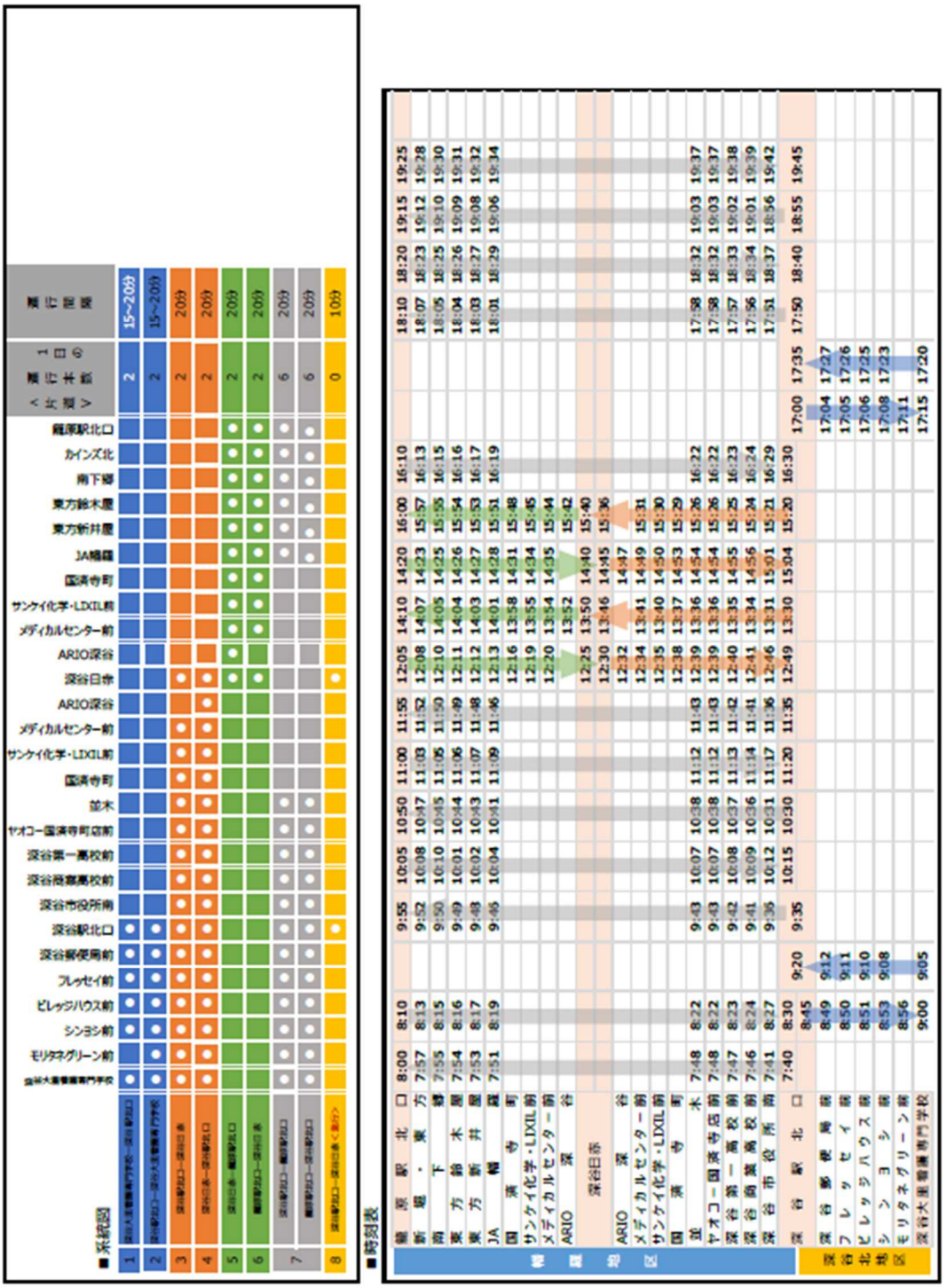
深谷北・籠原北線　運行系統（同色＝往路復路）

運行系統No.	運行種類	系統	距離(km)	運行本数	合計(km)
①	1	大里看護専門学校－深谷駅北口	4.79	5	23.95
②	2	深谷駅北口-大里看護専門学校	3.78	4	15.12
③	3	深谷駅北口－深谷日赤	5.02	4	20.08
④	4	深谷日赤－深谷駅北口	5.19	3	15.57
⑤	5	深谷日赤－籠原駅北口	5.54	4	22.16
⑥	6	籠原駅北口－深谷日赤	5.61	2	11.22
⑦	7	深谷駅―籠原駅北口	6.66	3	19.98
	8	籠原駅北口－深谷駅	6.66	5	33.30
⑧	9	＜急行＞深谷駅北口－深谷日赤	2.10	1	2.10
回送			2.00	2	4.00
合計				33	167.48

⑷ 時刻表（平日）（案）



⑸ 時刻表（休日）（案）



⑹ 運賃

別途、運賃協議小委員会にて協議する。

熊谷市ゆうゆうバススマホ回数券の降車データ取得について

令和６年２月１日付けでサービス開始。現在は、回数券の利用とともに、乗車した停留所のデータを取得している。

今回、当初より追加機能として予定していた降車データの取得機能を実装する。

【実装時期】

令和６年９月３日予定

【降車データ取得方法】

・降車停留所の選択欄を追加し、乗客に乗車毎に回答してもらう。

・回答は、任意だが、１回答ごとに後日クマポ（電子地域コミュニティポイント）が付与される特典がある。

【データ取得の目的】

・市のスマートシティ推進、データを活用したまちづくりのため、クマぶら（熊谷市 LINE アプリ）を入口としたクマ PAY（地域電子マネー）、クマポ（電子地域コミュニティポイント）等の各種サービスにて利用者から同意の得られたデータを蓄積し、施策の向上につなげるサイクルの実現を目指す。

